

親学の取り組みを始めるにあたって、どういう考え方で、どんなことをすれば良いのかわからない事業所の方も多いと思います。そこで、今回は千種区の洋菓子店「ぶれじゅーちとせ」の店長、加藤さんにインタビューを実施。従業員とご家族の方との関係づくりや、地域の子どもたちの体験学習に協力する意義など、参考になるお話をたくさん伺いました。

「違う世代から学べることがある」と、経験を通じて知ってほしい



加藤 卓男さん

——では、まず親学の取り組み内容について聞かせてください。

加藤さん（以下、敬称略） 一つは、子どものいる従業員には、お子さんの学校行事に積極的に参加してもらうよう声かけをしています。仕事は休んでもらっていいから、お子さんを優先してほしいと思っています。

そしてもう一つ、従業員の誕生日などの記念日には、店からケーキをプレゼントするんです。一人分ではなく、あえてホールケーキなど大きいものをプレゼントすることで、家族の時間を楽しくきかけになればいいなと。

——それは、やはり家族との時間を大切にしてほしいという思いが背景にあるのでしょうか？

加藤 はい。当店は私の父の代から約50年にわたって営業していて、私が子どもの頃は店の2階

に親子3代の大家族で暮らしていました。おじいさんやおばあさんの代と親の関係性も含めて、日常におしゃべりしたり、時にはけんかしたりという、当たり前にも見える家族のあり方を幼い頃に感じられたことは、とても大切だったと思うんです。

今は核家族中心の時代ですが、食事やお祝いするときなどは、ゆっくり家族で過ごす時間をとってほしい、という思いがありますね。

——市の中学生の職場体験への受け入れについても、お聞かせいただけますか？

加藤 今は新型コロナウイルスの影響でできていませんが、それまでは毎年2〜3名ほど、職場体験の中学生の子どもたちを受け入れていました。任せていたのは、主にケーキの紙箱を折る、お菓子を包装する、ラベルを貼るといった軽作業です。ケーキ屋さんの華やかなイメージに合う仕事をしてもらいたい気持ちもありましたが、その華やかさの裏にはこうした地道な仕事を毎日こなす大変さがあることも学んでもらいたいという考えで、任せる仕事を決めていました。

——子どもたちも、そういったメッセージを感じ取って成長してくれましたか？

加藤 そうですね。だいたい、1日目は作業を覚えて、2日目で少しずつリラックスできてきて、「どうやるんだっけ？」とお互いにコミュニケーションを取りながらできるようになります。3〜4日目になると、「今までよりも速くやるには？」ということに、ゲーム感覚でチャレンジする子が出てくる。そうすると、良い仕事をするためには自分自身の能力を上げて、頭を使って、チームワークも高め

ないといけなことが感覚的にわかってくるんです。こういう成長を感じられたからこそ、受け入れを続けていた面もありますね。

学校で学べることと、現場で学べることは違うので、子どもたちにとっては、こうした社会につながる経験は、とても大切だと思います。

——職場体験の受け入れで、従業員の方々を含めお店側にはどんな影響がありましたか？

加藤 従業員としてはやはり受け入れをすることで仕事としては忙しくなるのは確かです。でも、いざ子どもたちが来ると、すごく丁寧に教えてくれるんですよ。

そして、社会経験が少ない子どもたちに教える経験は、教育する側としての糧になる。そうすると、後輩のパートさん、アルバイトさんが入ってきたときに役立つんです。

——最後に、今後の展望も含め、メッセージをお願いします。

加藤 良いコミュニケーションを図るには「ありがとう」や「お世話になりました」などの言葉で人間関係にけじめをつけることが大切です。これができるようになって、人と人の関係性ができていくと思っています。そして、こういうことを教えてくれたのは、家庭でも職場でも、自分よりも上の世代の人たちでした。

だからこそ、自分も下の世代に経験を通じて人間関係の築き方を伝えていきたい。「上の世代から学べる」ということを、ふれあいを通じて感じられる場を、これからも企業として提供していければ良いなと思っています。



従業員の声 Voice

今では子どもも大きくなりましたが、子どもが小さい頃はやはり学校行事に保護者として参加する機会が多くありました。お店の方から積極的に学校行事に参加するように声かけをしてもらえたので、快くお休みをいただけてとても助かりました。誕生日には、自分自身や家族が忘れていたような時でも毎年ケーキのプレゼントをいただいて、家族で楽しむ機会になっています。こういう、アットホームなところがとても嬉しいですね。また、仕事をするという経験のない子どもたちを受け入れる職場体験についても、地域の方々を大切にする取り組みでとても良いことだと感じています。



ぶれじゅーちとせ

〒464-0093
名古屋市千種区茶屋坂通1-8
TEL: 052-711-1466
FAX: 052-711-1467
HP: <https://plaisirchitose.com/>